



## 新学期は、非行や犯罪被害に要注意！

進学・進級の時期は、生活環境の変化に伴い非行に走ったり、SNS等の利用に起因して性被害にあうケースが見受けられます。安心・安全な新学期を迎えるため、子供の非行や被害の現状を知り、それを防ぐため何をすべきか考えてみましょう。

成年年齢が18歳になるから、お酒もタバコも18歳から解禁してもいいんでしょ？



### お酒もタバコも20歳から！！

令和4年4月1日より、成年の年齢が20歳から18歳に引き下げられますが、飲酒・喫煙の禁止年齢は引き続き20歳未満です。未成年の飲酒・喫煙は成長期における身体に悪影響を与えるほか、喫煙や飲酒が非行の入り口となったり、事件や事故の引き金となる場合があります。



違います！

「子供でも少しの飲酒なら構わない」「喫煙は外でしなければよい」は誤った認識です。**未成年の飲酒や喫煙は依存症が非常に高く**、短期間でアルコール中毒になったり、薬物等への抵抗感が低下し、薬物乱用や他の非行へ踏み込んでしまう危険性があります。日頃から家族で話し合い、子供の飲酒・喫煙を未然に防止しましょう。



### 少年の大麻乱用が拡大しています！！

近年、少年を中心とした大麻の乱用拡大が問題になっています。「大麻は安全で依存性もない」といった誤った情報をうのみにして軽い気持ちで大麻に手を出すことは大変危険です。大麻の乱用は幻覚、記憶障害などを引き起こし、青少年期の乱用は更にリスクが高いとされています。



SNSで見たけど、大麻って体に害はないし、依存症にならないんでしょ？



ウソです！



大麻は覚醒剤など他の薬物に比べると激しい身体症状が出にくいので、**自分でも気付かないうちに大麻依存症**になっていることがあります。また、さらに強い刺激を求めて大麻より毒性の高い薬物に手を出す例が多いことから、大麻は「**ゲートウェイドラッグ**」と呼ばれています。誘われてもキッパリ断ることが大切です。

### ネットは便利！でも、危険も沢山…



スマートフォン等からSNSをはじめとしたインターネットを利用して、多くの子供達が性被害等にあっています。性別や身分を偽って裸や裸に近い画像を送らせたり、優しい言葉をかけて子供の信頼を得た上で、会う約束をして誘拐や性被害等の犯行に及ぶという事案が発生しています。



ネットで知り合った子、同じ年で気も合うし、女の子だから直接会っても危険はないでしょ？



ノー！

SNS上で「同性だから」「優しかったから」等と思っても、インターネットの世界では簡単に身分や性別を偽ることが可能であり、SNS上等で知り合った人と安易に会うことは危険です。また、**被害児童の約9割が、被害時にフィルタリングを設定していませんでした。**子供を犯罪被害から守るため、携帯電話等を持たせる際は必ずフィルタリングを設定し、正しく利用するための家庭内ルールを作りましょう。



少年サポートセンターでは、子供や保護者から少年問題に関する心理面の相談を面接・または電話で受け付けています。子供の未来を守るため、トラブルや悩みは抱え込まず、気軽に相談して下さい。

◎埼玉県警察少年サポートセンター  
保護者専用電話 048-865-4152  
少年専用電話 048-861-1152  
月～金(祝日を除く) 8:30～17:15